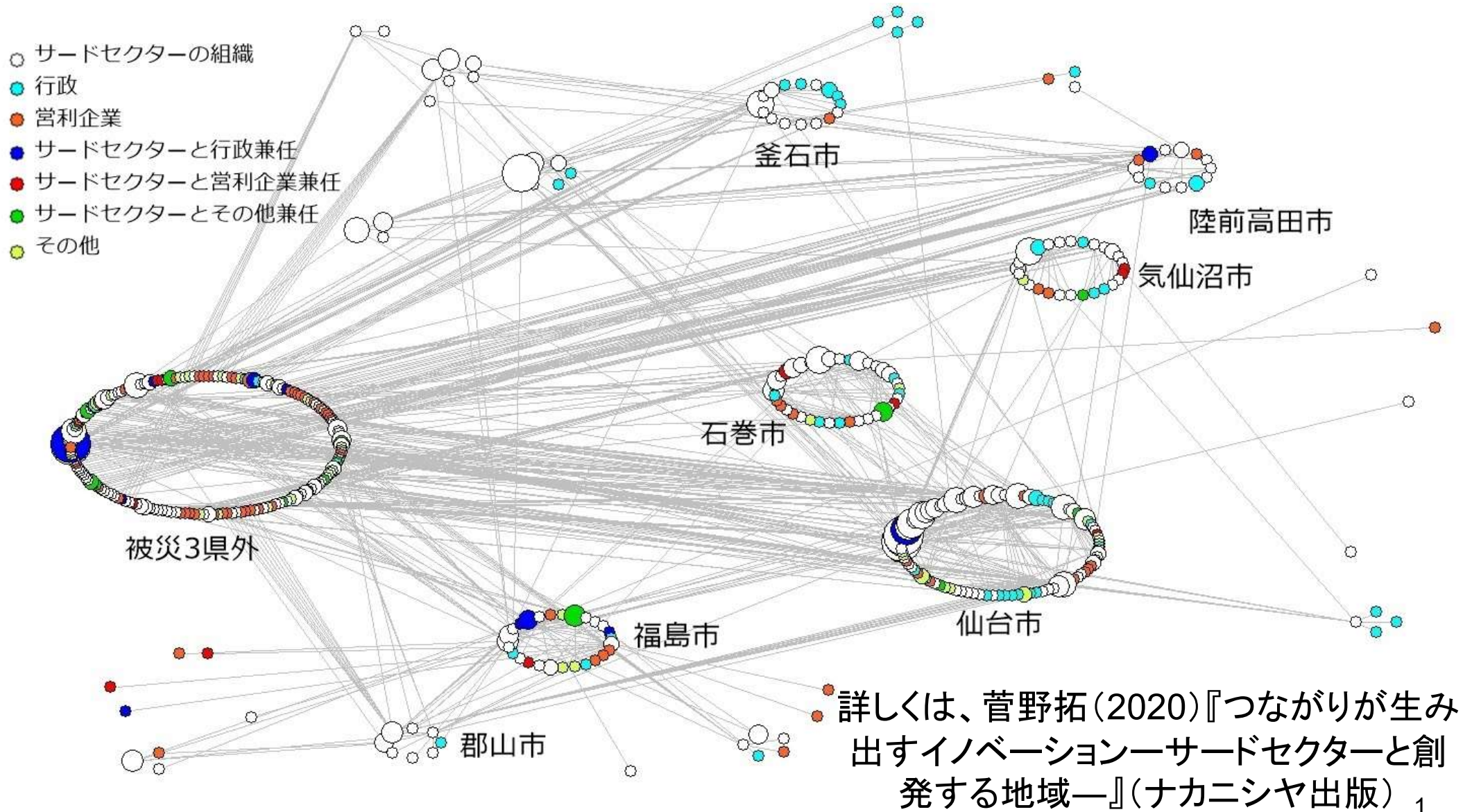

東北リーダー社会ネットワーク調査

京都経済短期大学 菅野拓
みちのく復興事業パートナーズ(事務局:NPO法人ETIC.)
一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター
2021年3月3日

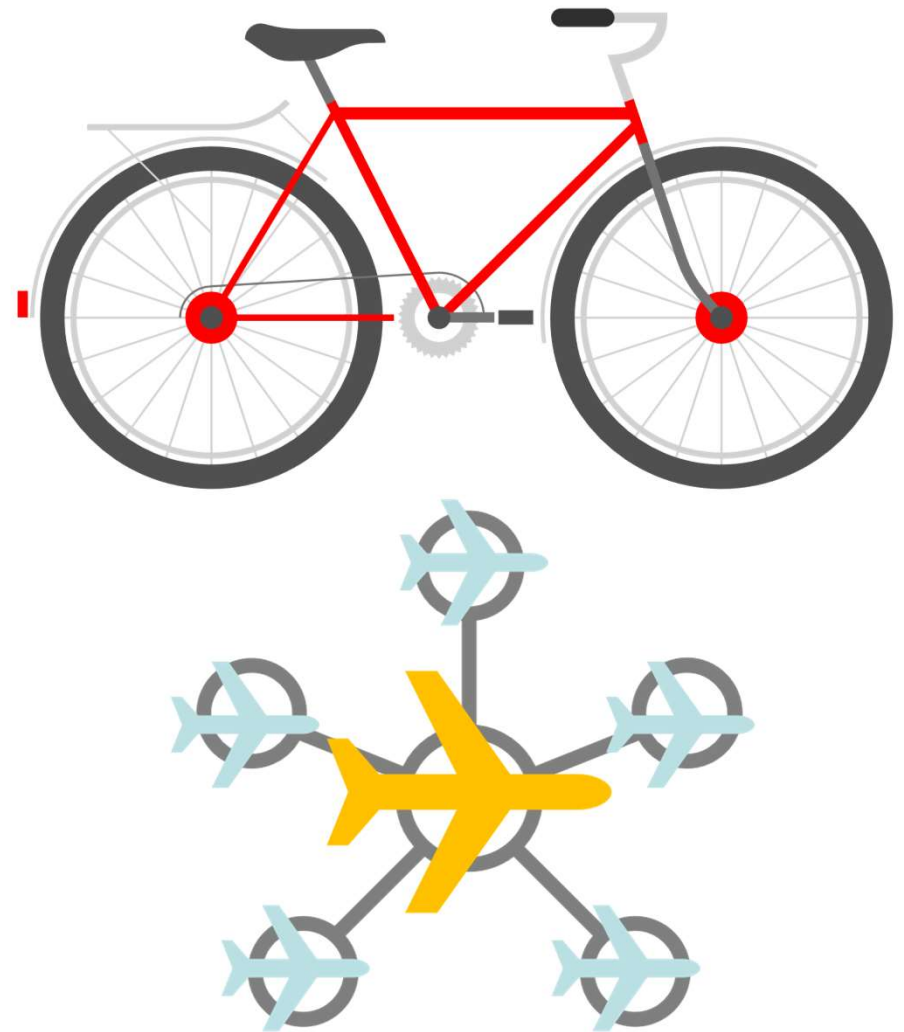
なぜこの調査を実施したのか？

前回調査のサードセクターの社会ネットワーク(2016年6月) 内外のつながりの結節=ハブを通し資源を互酬的にやりとり



なぜこの調査を実施したのか？

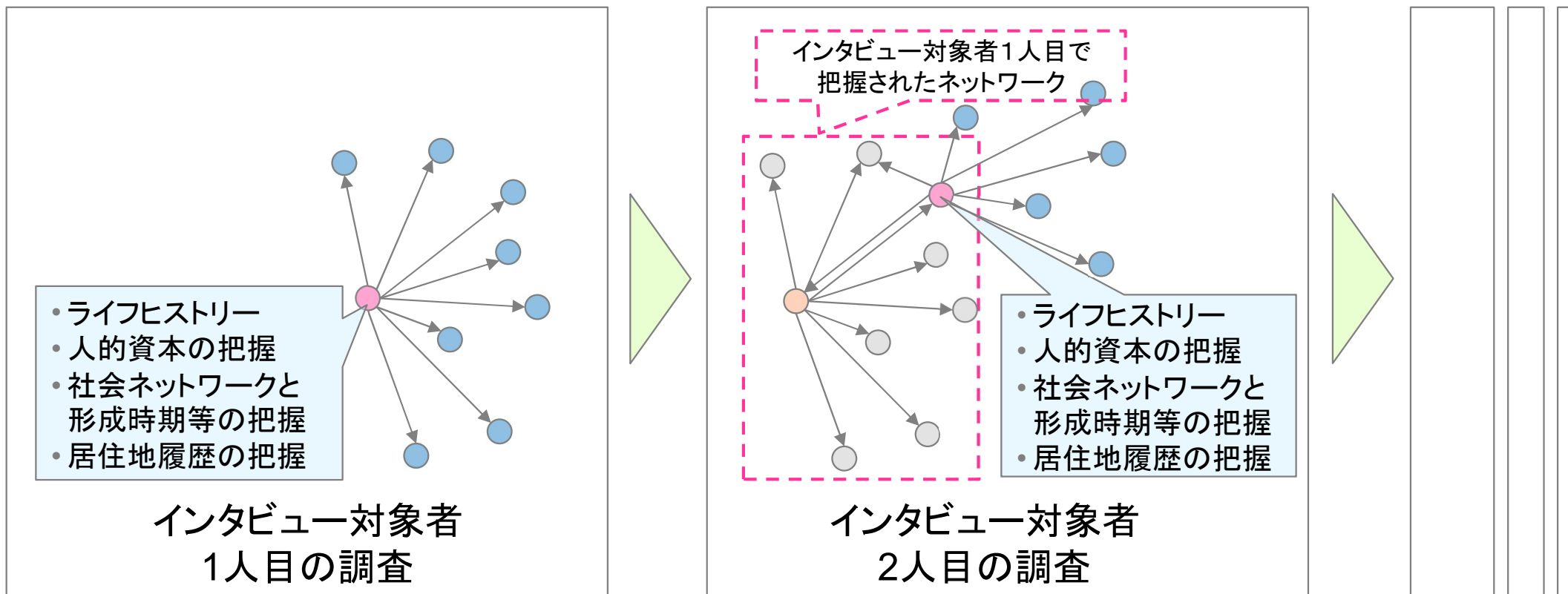
地域の「ハブ」機能に解像度上げて注目：持続可能性にかかわる課題への対応や、新たな事業の創造に関係している？



調査のイメージ

釜石・気仙沼・石巻・南相馬の4地域をベースに、リーダーのつながり＝社会ネットワークを数珠つなぎで把握

リーダー数珠繋ぎ調査のイメージ



釜石・気仙沼・石巻・南相馬の4地域をベースに、リーダーのつながり＝社会ネットワークを数珠つなぎで把握

- 岩手県釜石市、宮城県気仙沼市・石巻市、福島県南相馬市でインタビュー調査を実施。
- インタビューで把握した社会ネットワークのうち、同一地域に居住する人物をランダムに対象者とする、スノーボール法で調査実施。
- インタビューの内容は以下。
 - 主な調査項目は属性、人的資本の状況(学歴、仕事歴など)、社会ネットワーク(例えば最大10人など)とその形成時期・形成機会、居住地履歴など。
 - 社会ネットワークは「東日本大震災以降の活動のなかで信頼し、お世話になっている・いたと感じている人物や活動の立ち上げや変化に大きく関与したと感じている人物を最大10人教えてください」として把握。
 - 次のインタビュー対象者は、インタビューで把握できた社会ネットワークから、地域内や近郊に居住している人物を選定。
 - ただし、調査に十分な社会ネットワークが形成されているのか不分明な南相馬市では、インタビューで把握できたキーパーソンのみならず、コーディネーターの活動の中で把握できたキーパーソンにもインタビューを実施している。

調査結果の概要

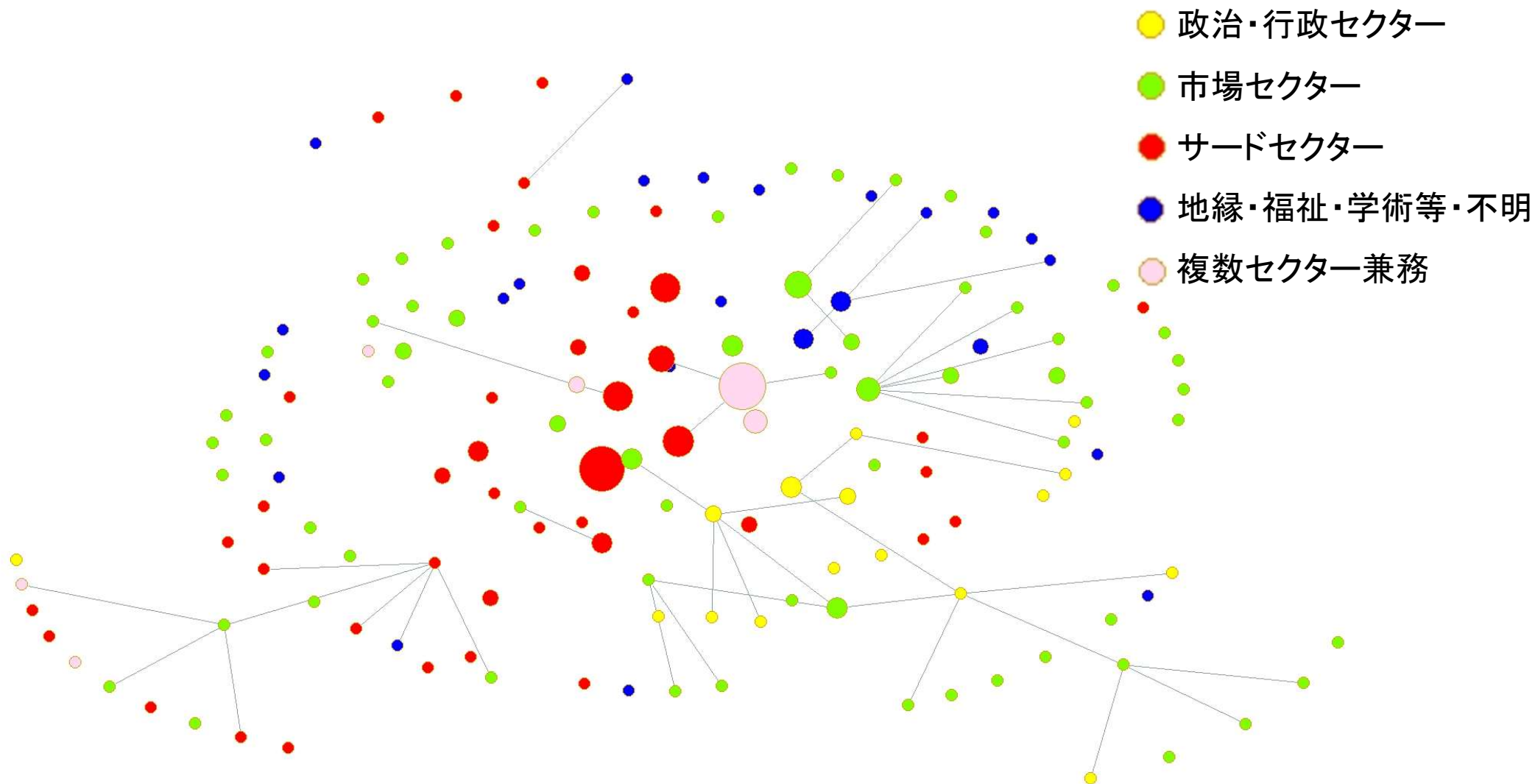
4地域で99人にインタビュー調査を実施し、652人のキーパーソンを把握(うち複数地域から指名7人)

- 調査実施期間は2020年6月24日から2021年1月31日

- 岩手県釜石市：インタビュー18人、把握115人
- 宮城県気仙沼市インタビュー27人、把握153人
- 宮城県石巻市：インタビュー33人、把握235人
- 福島県南相馬市：インタビュー21人、把握157人
 - なお福島県南相馬市においては、数珠繋ぎでインタビューを実施していないため、利用できないデータが存在する(実際にはインタビュー26人、把握178人)。

分析結果

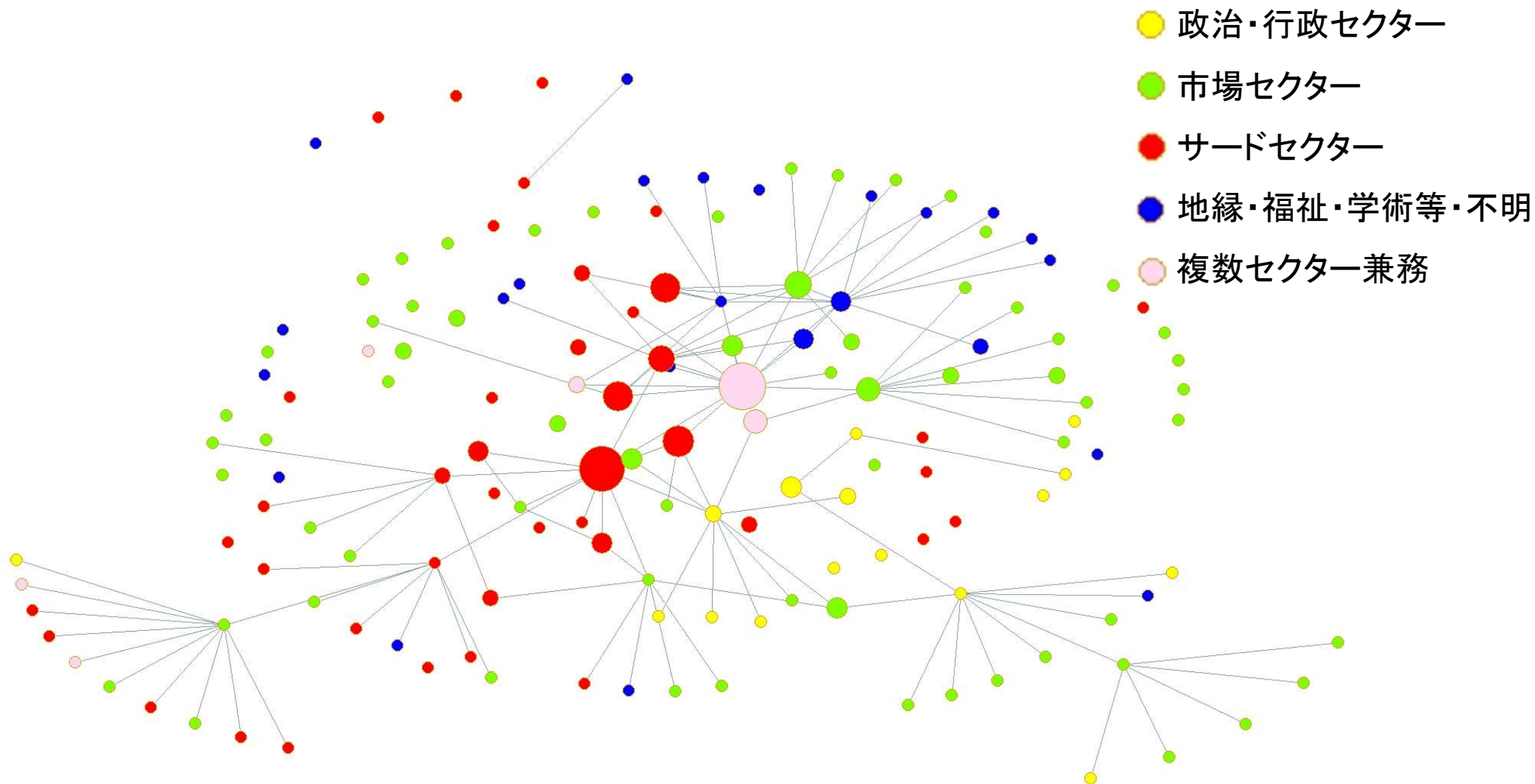
気仙沼市の社会ネットワークの形成 : 震災前



※ノード(丸)の大きさは被指名数を反映 6

分析結果

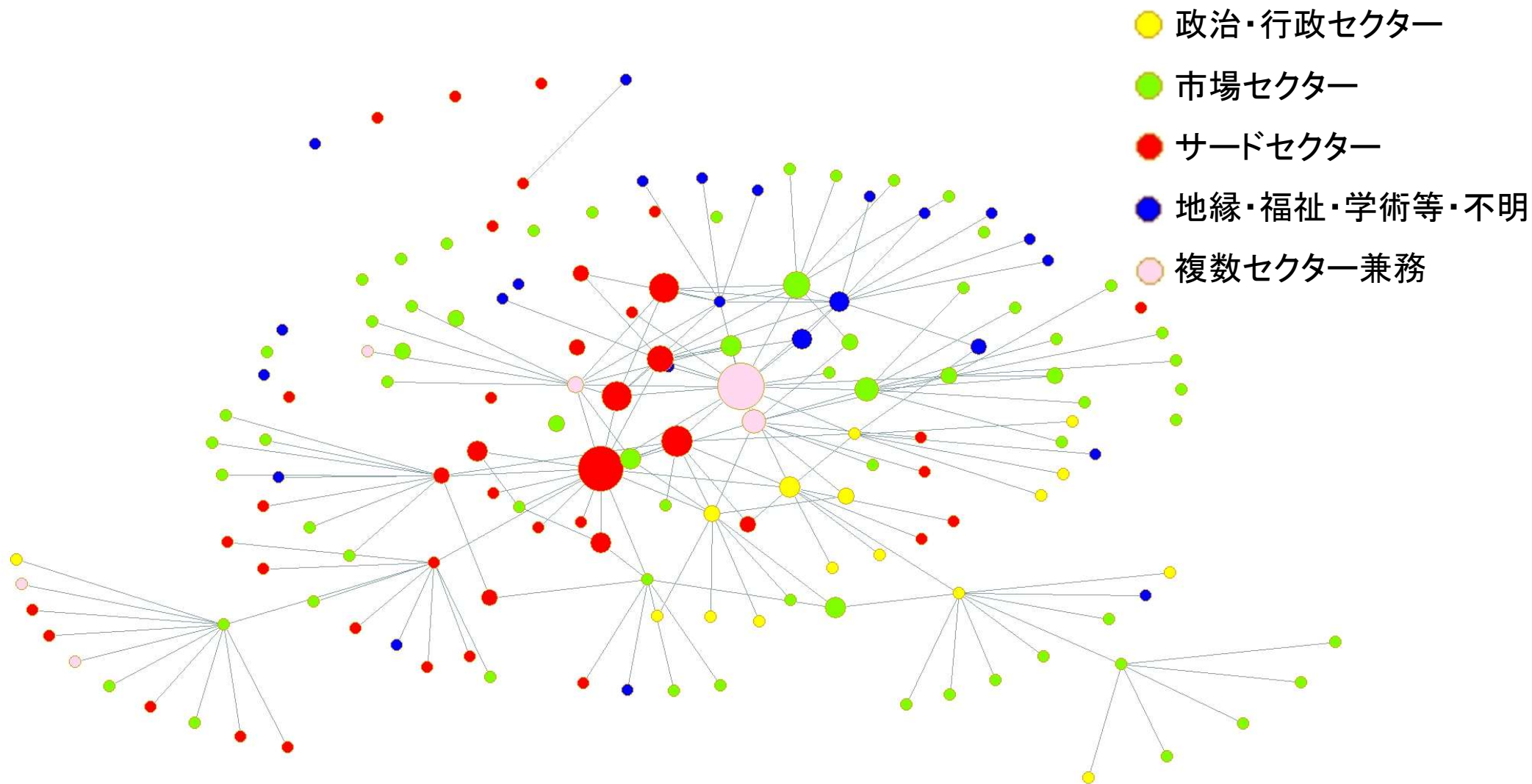
気仙沼市の社会ネットワークの形成 :2012年3月時点



※ノード(丸)の大きさは被指名数を反映 7

分析結果

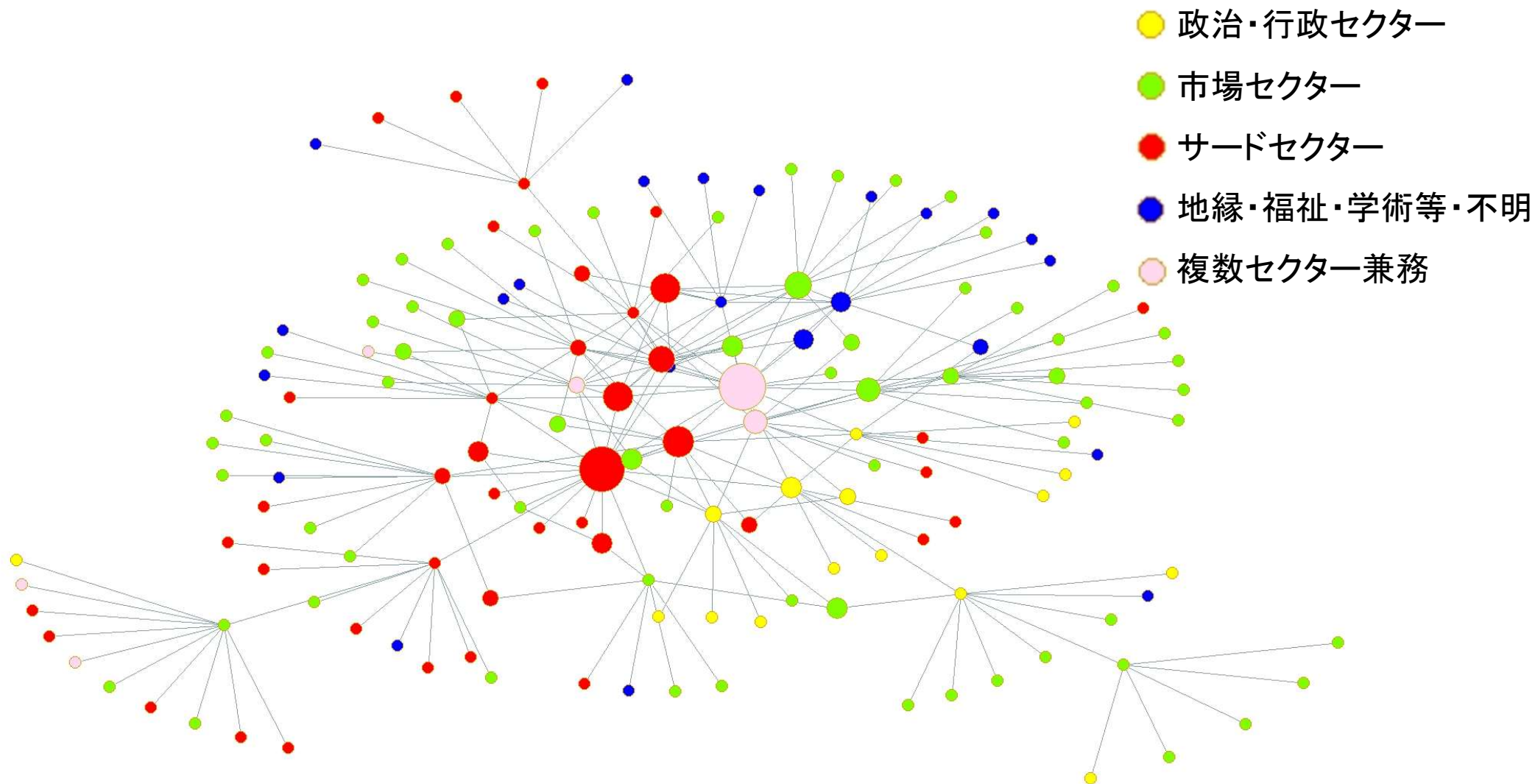
気仙沼市の社会ネットワークの形成 :2015年3月時点



※ノード(丸)の大きさは被指名数を反映 8

分析結果

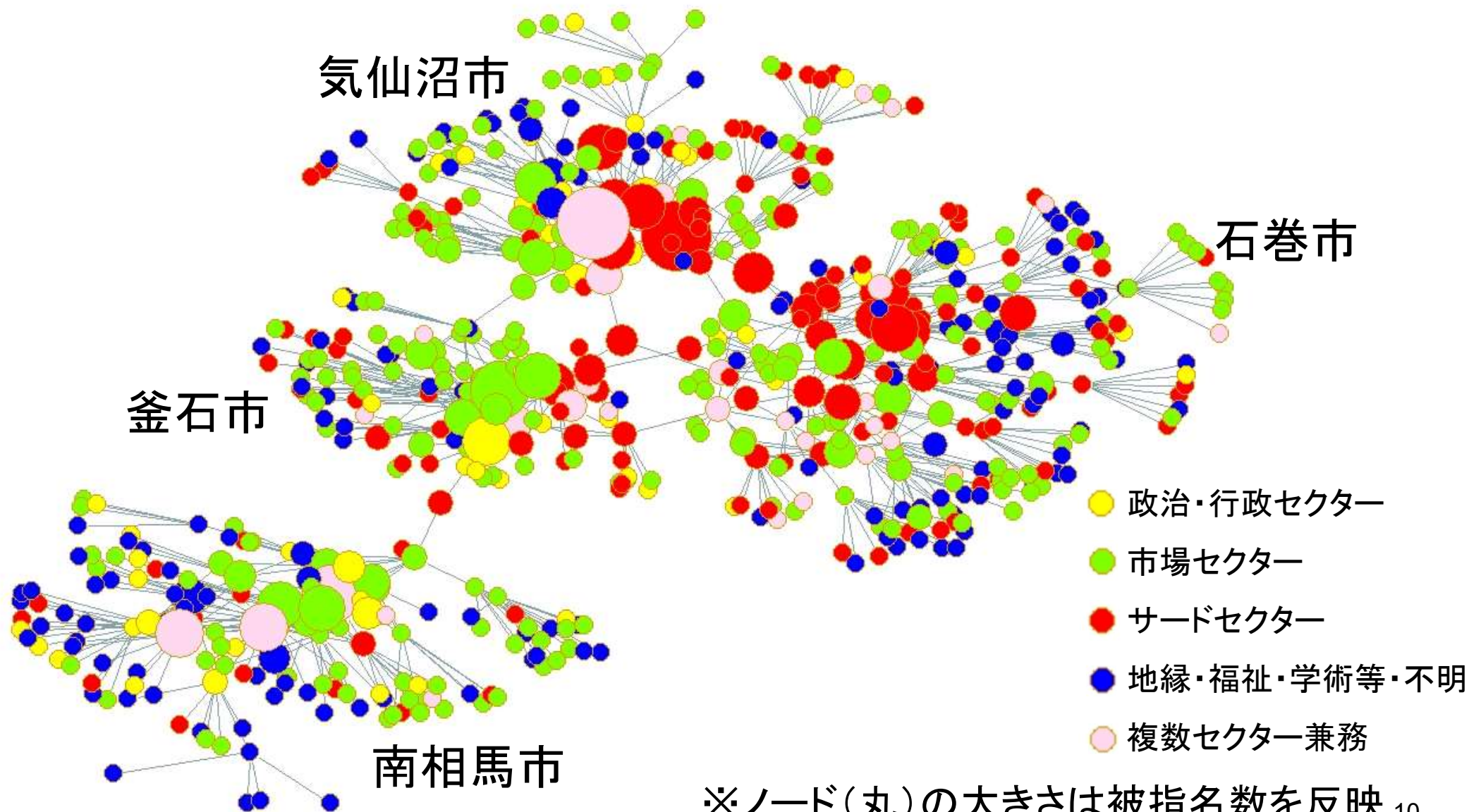
気仙沼市の社会ネットワークの形成 : 調査時点(2020年6月)



※ノード(丸)の大きさは被指名数を反映 9

分析結果

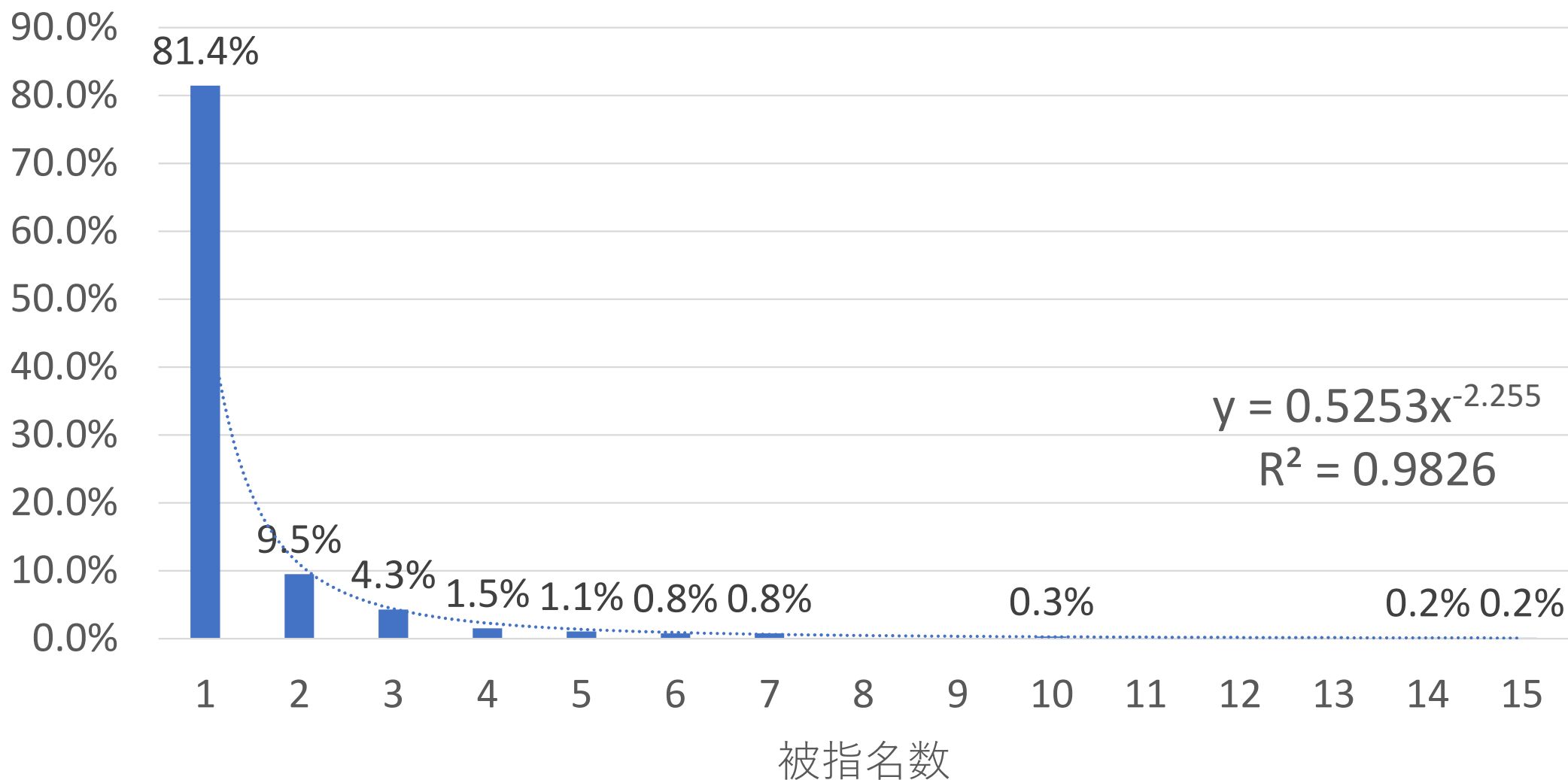
NPOなどサードセクターや兼務者が中心になり地域間をつなぎ、全国的な社会ネットワークにも接続している



分析結果

社会ネットワーク構造は「ハブ」が存在するインターネットとよく似たスケールフリー・ネットワーク。地域ごとにみても同様

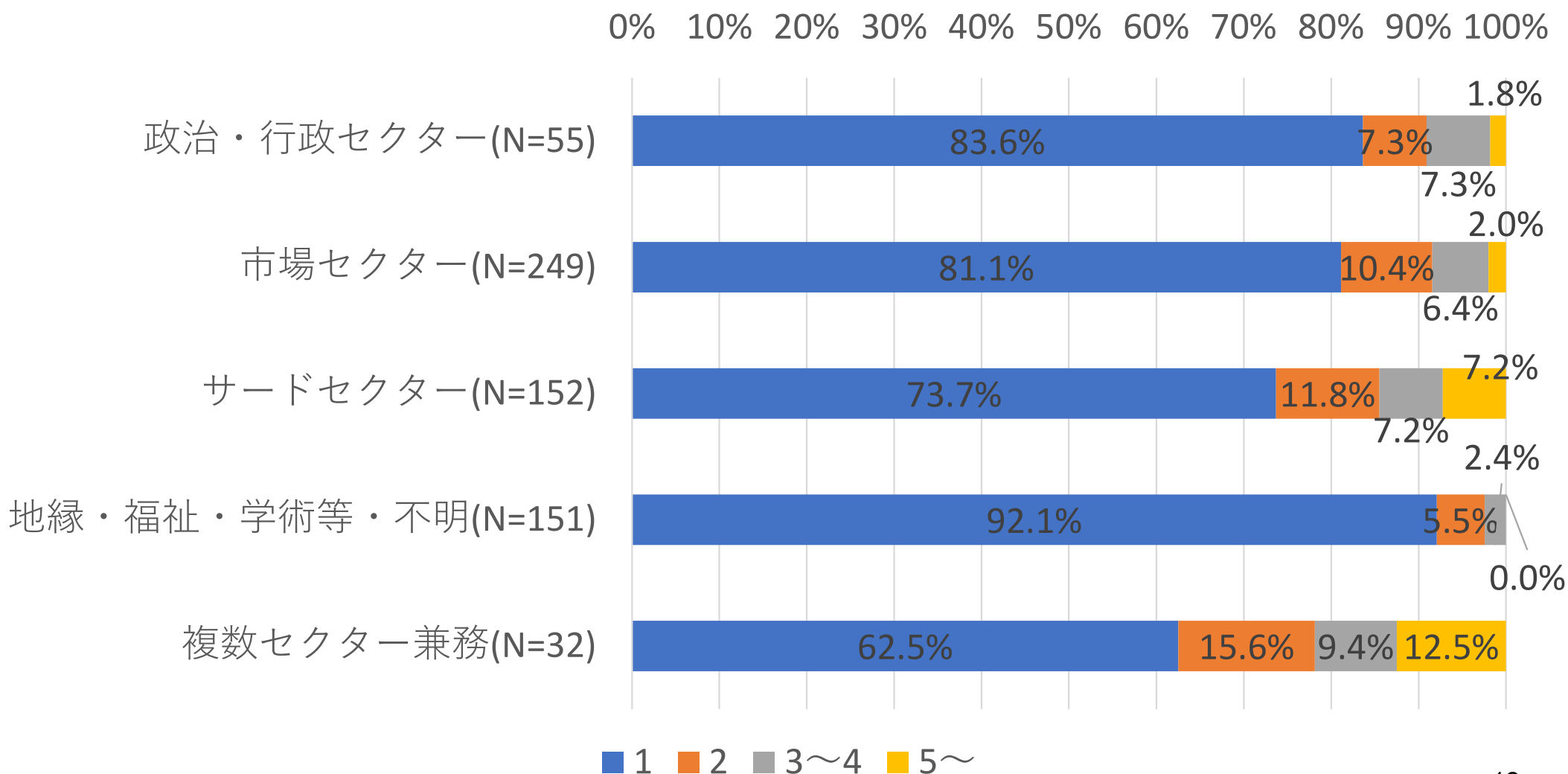
指名数ごとのキーパーソンの分布（調査時点、全体比）



分析結果

単純にセクターのみで規定されるわけではないが、複数セクター兼務者やサードセクターがハブである割合が大きい

セクターごとにみた被指名数（調査時点、全体比）



考察

多様な人を受け入れ、ハブを生み出し、つながりを保有することが、新たな知識・人を取り入れ、創発性を地域につくる鍵？

- 社会ネットワーク構造はスケールフリー・ネットワークでハブが存在。
- ハブとなりやすいのは複数セクター兼務やサードセクターのキーパーソン。彼らは全国的なつながりを持ち地域間をつなぐ役割も果たす。
 - ただし、市場セクターや政治・行政セクターにも、ハブの役割を担うキーパーソンが存在し、単純にセクターのみで説明はできない。
- 複数セクターを兼務するキーパーソンは、異なるセクター特有のルールや規範を理解し、異文化を翻訳する立ち位置。
- 鍵は文化の翻訳能力やハブを受け入れる地域のあり方？